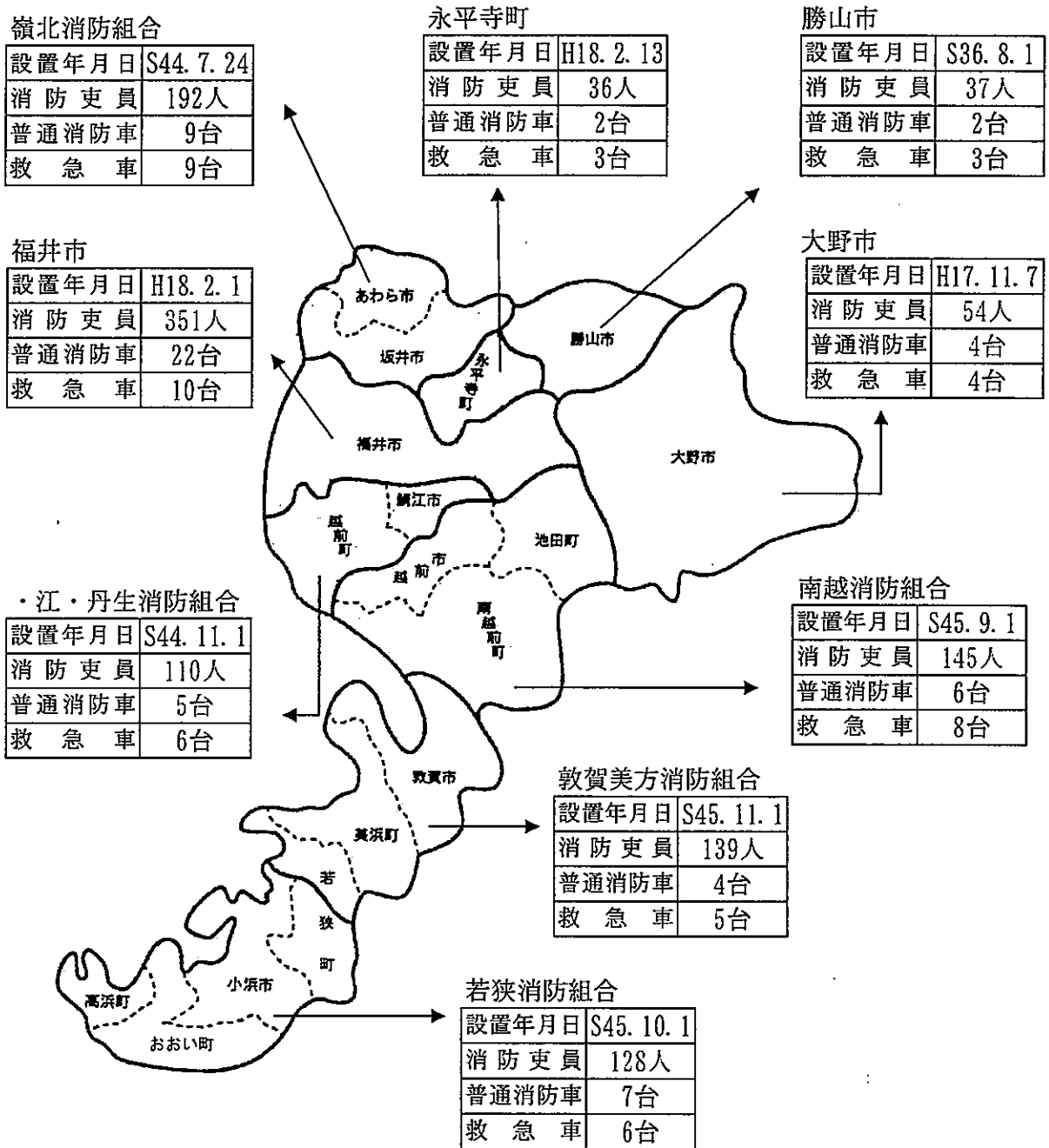


消 防 編

第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制(平成23年4月1日現在)



※普通消防車とは、普通消防ポンプ自動車であり、台数については消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積 (国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」H22. 10. 1現在)		4,189.83 km ²	
平成22年国勢調査(速報値) 人口		806,470 人	
住民基本台帳人口 (H22. 7. 1現在)		805,557 人	
住民基本台帳世帯数 (H22. 7. 1現在)		276,944 世帯	
65才以上高齢者数 (「福井県の高齢者人口状況 H22.7.1現在」※「住民基本台帳」および「外国人登録原簿」による市町村集計)		200,763 人	
高齢化率 (")		24.9 %	
地域別人口	福井坂井地区 (平成22年国勢調査 速報値)	409,393 人	
	奥越地区	60,771 人	
	丹南地区	190,879 人	
	嶺南地区	145,427 人	
2 2 年 火 災 状 況	火災件数	224 件	
	うち	建物火災件数	142 件
		林野火災件数	6 件
	建物焼損面積	8,388 m ²	
	林野焼損面積	111 a	
	損害額	652,121 千円	
	うち	建物火災	616,516 千円
	死者 (自殺者数内数)	9(2) 人	
	負傷者	51 人	
	出火率 (人口1万人に対する出火件数) ※H22年3月末住民基本台帳人口による	2.77 件	
2活 2動 年 救 急 況	救急出場件数	25,092 件	
	うち	急病	14,853 件
		交通事故	2,848 件
		一般負傷	3,526 件
搬送人員	24,235 人		
消 防 本 部 ・ 署 所	消防本部	単独設置市	3
		単独設置町	1
		消防一部事務組合	5
	消防署数	20	
	出張所数	31	
	消防職員	消防吏員	1,192 人
		その他の職員	32 人
合計		1,224 人	
消 防 団	消防団数	18	
	分団数	235	
	消防団員	非常勤団員数	5,656 人
		常勤団員数	0 人
		合計	5,656 人

消 防 車 両 等	区 分		消防本部・署所	消 防 団	
		普通消防ポンプ自動車		61 台	153 台
	水槽付消防ポンプ自動車		22 台	—	
	はしご付消防ポンプ自動車		12 台	—	
	屈折はしご付消防ポンプ自動車		2 台	—	
	化学消防自動車		16 台	—	
	救急自動車		54 台	—	
	指揮車		21 台	—	
	救助工作車		16 台	—	
	小型動力ポンプ(付)積載車		0 台	163 台	
	小型動力ポンプ		35 台	147 台	
	広報車		31 台	—	
	資機材搬送車		26 台	—	
	屈折放水塔車		1 台	—	
	大型高所放水車		1 台	—	
	泡原液搬送車		2 台	—	
	その他の車両		31 台	—	
消 防 水 利	消火栓		公 設	17,844 個	
			私 設	294 個	
	防火水槽		100㎡以上	103 基	
			60㎡以上 100㎡未満	151 基	
			40㎡以上 60㎡未満	4,854 基	
			20㎡以上 40㎡未満	591 基	
	井戸		公 設	85 個	
私 設			—		
そ の 他			617 個		
通 信 施 設 等	消防用無線		基地局および固定局	49 局	
			移動局	690 局	
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局	18 局
				同報受信設備	12,762 局
			移動無線	基地局	36 局
		移動局		952 局	
		県	固定系	地上系	31 局
				衛星系	73 局
	移動系		基地局等	30 局	
			移動局等	199 局	
	テレビ監視装置			2 基	
火災報知専用電話			123 回線		
消防電話			110 回線		

第2章 火災の実態

1 概況

平成22年中の火災発生件数は224件、死者9人、負傷者51人、損害額6億5212万円、焼損棟数197棟、り災世帯数110世帯、り災人員313人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日179万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成17年中が最も多く、平成21年中が最も少ない。

2 出火件数および損害額の状況

(1) 出火件数

総出火件数は224件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が142件で全体の63.4%を占め、車両火災39件(17.4%)、林野火災6件(2.7%)、船舶火災2件(0.9%)、その他火災35件(15.6%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が58件(40.8%)で最も多く、次いで工場15件(10.6%)、共同住宅10件(7.0%)、事務所・併用住宅9件(6.3%)、複合用途(非特定)6件(4.2%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、12月の発生件数が26件で最も多く、1月・7月が12件と最も少ない。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

(2) 損害額

損害額は、6億5212万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が6億1,651万円で全体の94.5%を占め、次いで車両火災3074万円(4.7%)となっている。火災1件当たりの損害額は291万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、1月の損害額が1億5,085万円で最も多く、4月が610万円で最も少ない。

3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因では放火が最も多く20件で8.9%を占め、次いで、こんろ16件(7.1%)、たばこ15件(6.7%)、ストーブ・放火の疑い13件(5.8%)、たき火12件(5.4%)、電灯電話等の配線・配線器具8件(3.6%)、電気機器7件(3.1%)などとなっている。

4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、一酸化炭素中毒・火傷が3人、自殺が2人、1人が不明となっている。

また、平成22年中の死者に占める高齢者は5人で全体の55.6%となった。

第1表 1日当たりの損害状況

区 分	単 位	平成22年 (A)	平成21年 (B)	対前年増加数 (A) - (B)
出 火 件 数	件	0.61	0.60	0.01
損 害 額	万円	179	111	68
焼 損 棟 数	棟	0.54	0.50	0.04
り 災 世 帯 数	世帯	0.30	0.33	△0.03
り 災 人 員	人	0.86	1.03	△0.17

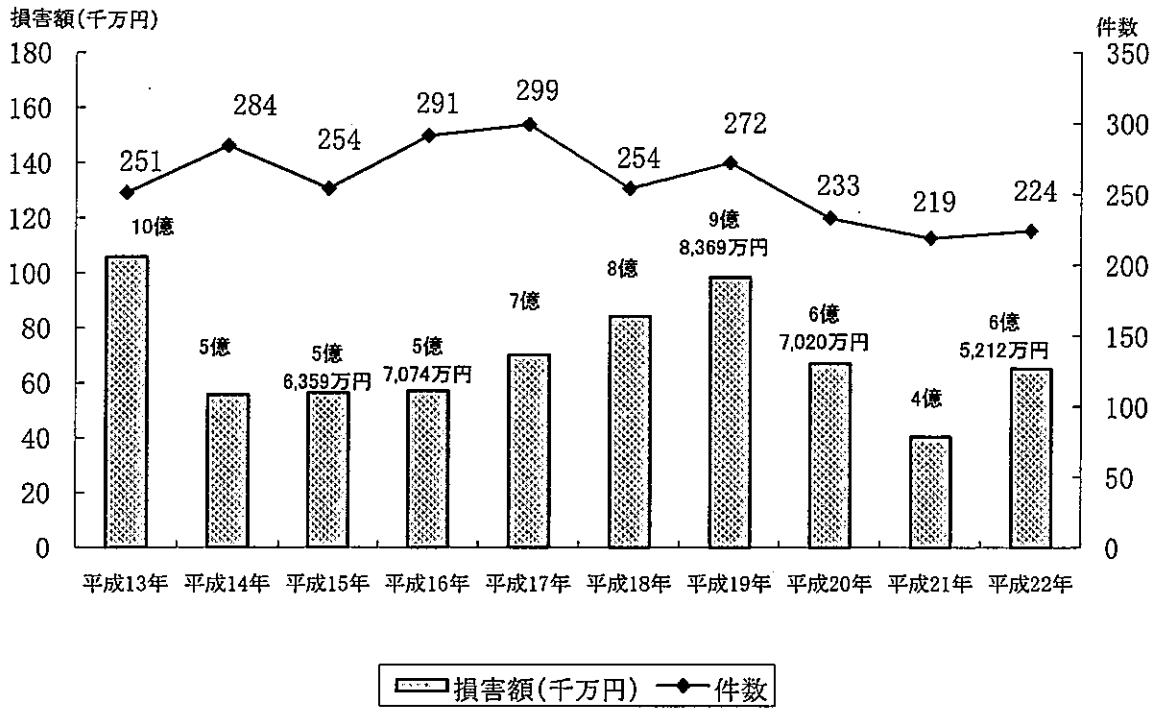
第2表 平成22年火災発生状況と前年比較表

区 分	平成22年(A)	平成21年(B)	対前年増加数 (A) - (B) = (C)	増 加 率 (C)/(B)×100(%)
総 出 火 件 数	224	219	5	2.3
建 物	142	141	1	0.7
林 野	6	10	△ 4	△ 40.0
車 両	39	34	5	14.7
船 舶	2	1	1	-
そ の 他	35	33	2	6.1
焼 損 棟 数(棟)	197	188	9	4.8
全 焼	47	49	△ 2	△ 4.1
半 焼	16	14	2	14.3
部 分 焼	65	55	10	18.2
ぼ や	69	70	△ 1	△ 1.4
り 災 世 帯 数(世帯)	110	101	9	8.9
全 損	29	24	5	20.8
半 損	8	7	1	14.3
小 損	73	70	3	4.3
り 災 人 員(人)	313	275	38	13.8
建 物 焼 損 面 積(m ²)	8,388	7,181	1,207	16.8
林 野 焼 損 面 積(a)	111	179	△ 68	△ 38.0
損 害 額 合 計(千円)	652,121	403,955	248,166	61.4
建 物	616,516	383,105	233,411	60.9
林 野	182	2,362	△ 2,180	△ 92.3
車 両	30,741	12,623	18,118	143.5
船 舶	1,928	1,163	765	-
そ の 他	1,936	1,101	835	75.8
爆 発	818	3,601	△ 2,783	500.0
死 者(人)	9	4	5	125.0
()は放火自殺者内数	(2)	(1)	1	(100.0)
建 物	7 (1)	2 (0)	5 1	250.0 -
林 野	0	0	0	-
車 両	1 (0)	0 (0)	1 0	- -
船 舶	0	0	0	-
そ の 他	1 (1)	2 (1)	△ 1 0	△ 50.0 (0.0)
負 傷 者(人)	51	18	33	183.3
建 物	44	15	29	193.3
林 野	0	0	0	-
車 両	4	2	2	100.0
船 舶	0	0	0	-
そ の 他	3	1	2	200.0
出 火 率 (人口1万人に対する出火件数)	2.77	2.70		

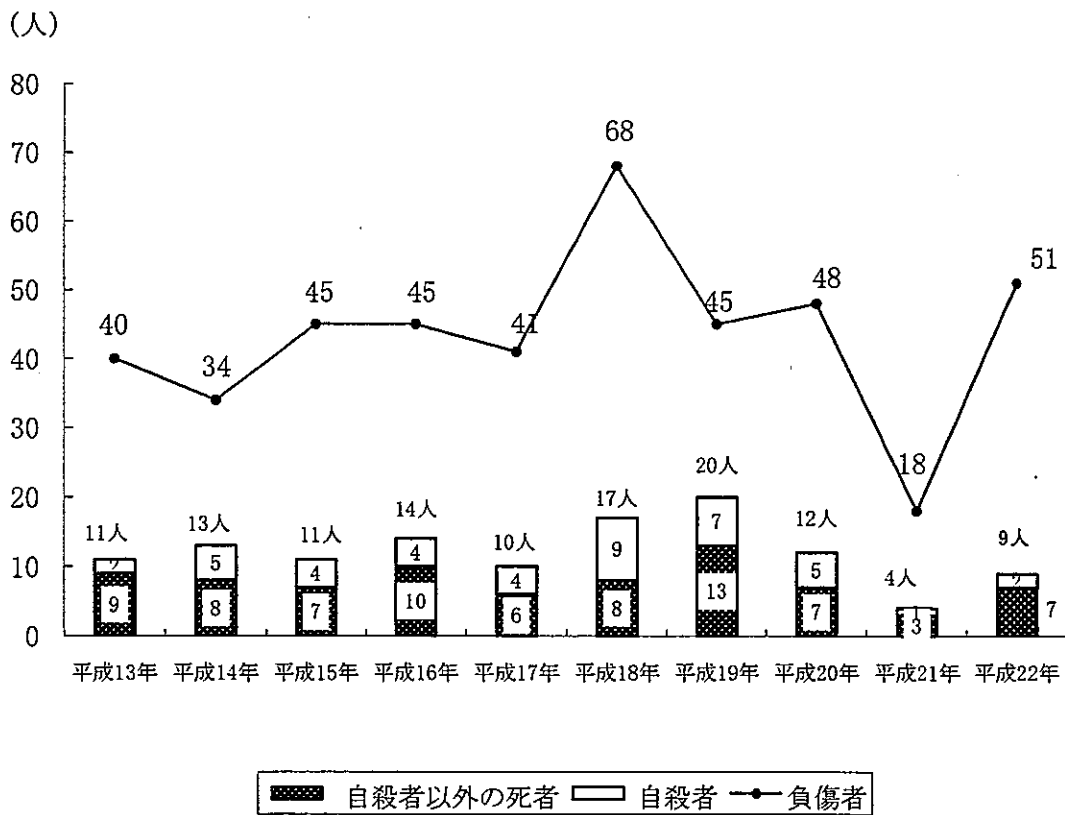
平成22年人口:平成22年3月31日現在の住民基本台帳による。

平成21年人口:平成21年3月31日現在の住民基本台帳による。

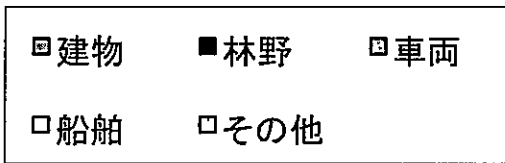
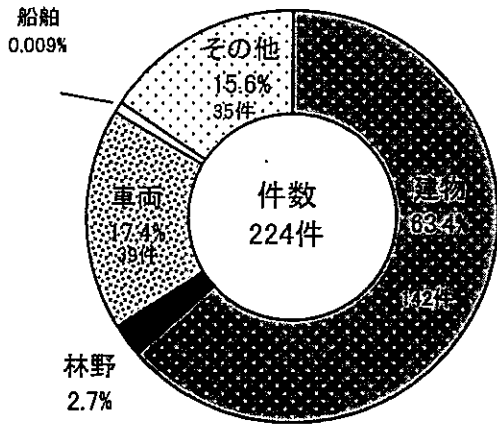
第1図 過去10年間の出火件数と損害額の推移



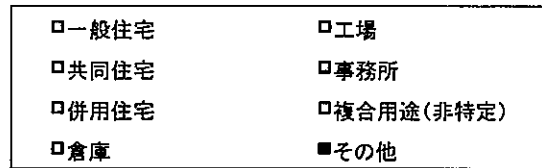
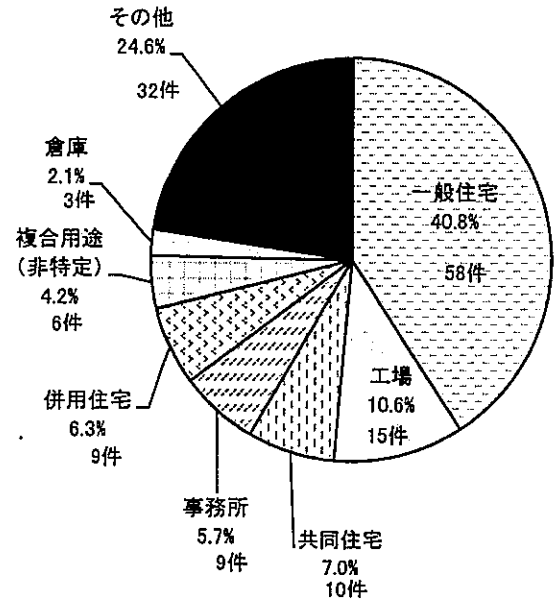
第2図 過去10年間の死傷者数の推移



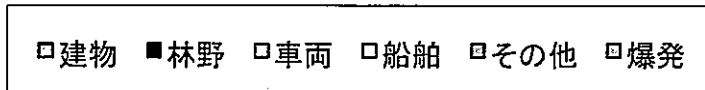
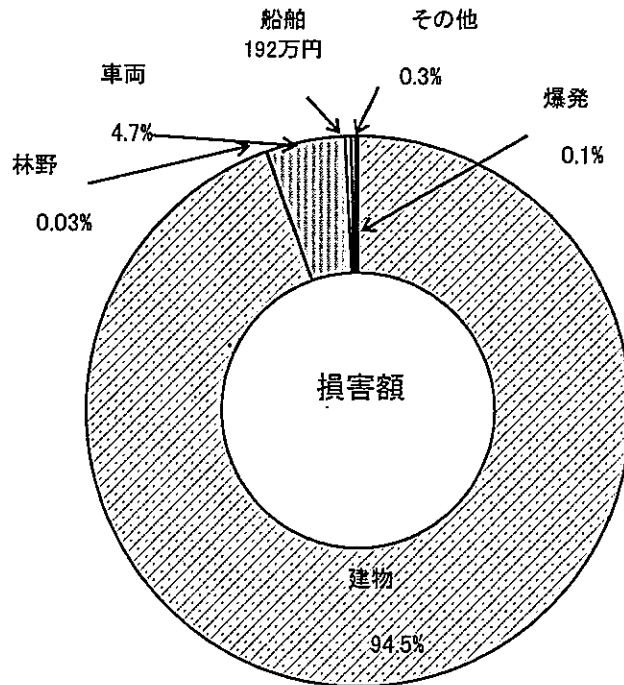
第3図 火災発生件数の内訳



第4図 うち建物火災件数の内訳



第5図 損害額の内訳



第3表 平成22年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)						焼損棟数(棟)				焼損面積			り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	死(人) 内は放火自殺者(人)	負傷者(人)	損害額(千円)							
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(m ²)	林野(a)	合計	全	半				小	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発
1	12	9	0	1	1	1	18	6	1	5	6	960	0	11	4	1	6	39	1(0)	2	150,857	149,279	0	67	1,506	5	0
2	20	15	0	3	1	1	24	7	4	6	649	0	15	4	3	8	38	4(1)	8	42,089	41,438	0	229	422	0	0	
3	21	13	0	2	0	6	19	6	0	6	787	0	9	2	1	6	24	2(0)	1	48,068	46,188	0	347	0	1,533	0	
4	19	11	2	4	0	2	11	2	1	7	224	36	5	2	0	3	14	0(0)	3	6,105	4,760	134	1,088	0	0	0	123
5	23	13	1	4	0	5	15	6	0	6	1,102	1	7	2	0	5	22	0(0)	10	72,084	70,566	0	1,371	0	147	0	
6	16	10	1	2	0	3	11	0	2	6	132	6	5	0	0	5	11	0(0)	2	19,399	18,759	48	592	0	0	0	
7	12	8	0	3	0	1	17	6	1	7	886	33	10	3	0	7	17	0(0)	5	85,960	85,622	0	338	0	0	0	
8	24	12	1	4	0	7	24	6	1	9	1,056	35	16	4	1	11	51	0(0)	6	46,942	43,938	0	2,969	0	35	0	
9	14	7	1	3	0	3	10	3	1	4	554	0	6	2	1	3	19	0(0)	5	69,633	48,849	0	20,621	0	163	0	
10	18	8	0	7	0	3	12	2	1	6	870	0	7	2	0	5	23	1(1)	3	32,693	29,541	0	2,897	0	51	204	
11	19	13	0	4	0	2	13	2	1	3	678	0	8	2	0	6	26	1(0)	1	43,884	43,328	0	95	0	0	461	
12	26	23	0	2	0	1	23	1	3	6	490	0	11	2	1	8	29	0(0)	5	34,407	34,248	0	127	0	2	30	
計	224	142	6	39	2	35	197	47	16	65	8,388	111	110	29	8	73	313	9(2)	51	652,121	616,516	182	30,741	1,928	1,936	818	

第4表 市町別火災状況

区分	出火件数(件)							焼損棟数(棟)					り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損		小損
福井市	77	43	2	13	0	0	19	60	10	2	18	30	40	7	0	33	103
敦賀市	14	8	0	2	1	0	3	9	1	2	1	5	7	4	1	2	20
小浜市	13	8	0	3	0	0	2	14	6	2	4	2	8	3	1	4	19
大野市	11	8	0	1	0	0	2	12	6	2	4	0	2	1	0	1	3
勝山市	13	7	1	2	0	0	3	7	2	1	1	3	3	1	0	2	10
・江市	15	11	0	3	0	0	1	17	5	0	7	5	12	4	0	8	38
あわら市	9	7	0	2	0	0	0	9	2	1	3	3	2	1	0	1	4
越前市	26	21	1	4	0	0	0	23	5	2	12	4	15	3	2	10	39
坂井市	15	10	0	4	1	0	0	15	4	2	5	4	9	2	2	5	37
市計	193	123	4	34	2	0	30	166	41	14	55	56	98	26	6	66	273
永平寺町	6	5	0	0	0	0	1	10	2	0	6	2	2	1	1	0	2
池田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	5	3	0	2	0	0	0	5	1	1	0	3	4	1	1	2	10
越前町	6	3	2	0	0	0	1	3	1	0	0	2	2	0	0	2	12
美浜町	4	1	0	2	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	3
高浜町	4	3	0	0	0	0	1	6	1	0	2	3	2	0	0	2	9
おおい町	4	2	0	1	0	0	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0
若狭町	2	2	0	0	0	0	0	4	1	0	2	1	1	1	0	0	4
(内訳)																	
旧三方町 敦賀美方消防管轄	2	2	0	0	0	0	0	4	1	0	2	1	1	1	0	0	4
旧上中町 若狭消防管轄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町計	31	19	2	5	0	0	5	31	6	2	10	13	12	3	2	7	40
県計	224	142	6	39	2	0	35	197	47	16	65	69	110	29	8	73	313

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

期間:平成22年1月1日～12月31日

死傷者数(人)		焼 損 面 積			損 害 額(千円)						
死 者	負 傷 者	建 物 床 (㎡)	建 物 表 (㎡)	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発
4	22	1,947	272	6	139,742	136,806	48	2,703	0	185	0
0	1	257	1	0	20,096	17,462	0	692	422	1,520	0
1	3	594	16	0	44,147	41,913	0	2,021	0	9	204
0	2	1,004	3	0	31,472	31,283	0	128	0	61	0
0	1	166	2	25	10,537	9,994	40	503	0	0	0
1	6	949	34	0	147,202	146,907	0	172	0	0	123
0	3	471	24	0	27,061	25,247	0	1,784	0	0	30
1	5	710	65	1	52,841	51,066	0	1,154	0	160	461
0	7	1,010	10	0	132,891	111,020	0	20,365	1,506	0	0
7	50	7,108	427	32	605,989	571,698	88	29,522	1,928	1,935	818
0	0	237	3	0	8,600	8,599	0	0	0	1	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	207	0	0	12,979	11,959	0	1,020	0	0	0
0	0	92	1	79	2,600	2,506	94	0	0	0	0
1	0	0	1	0	112	33	0	79	0	0	0
0	0	89	51	0	1,923	1,923	0	0	0	0	0
0	0	73	0	0	8,057	7,937	0	120	0	0	0
0	0	582	55	0	11,861	11,861	0	0	0	0	0
0	0	582	55	0	11,861	11,861	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	1	1,280	111	79	46,132	44,818	94	1,219	0	1	0
9	51	8,388	538	111	652,121	616,516	182	30,741	1,928	1,936	818

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

区 分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
福井市	77	139,742	4	80	6	5,032	6	25,865	1	1	5	1,389	7	10,469
敦賀市	14	20,096	0	0	2	5,617	2	1,513	3	1,967	2	1,076	0	0
小浜市	13	44,147	1	7	2	13,383	1	43	0	0	1	0	0	0
大野市	11	31,472	0	0	1	0	2	7,511	1	312	4	5,190	1	114
勝山市	13	10,537	1	126	1	4,365	3	5,331	3	146	0	0	3	472
・江市	15	147,202	1	126,033	3	1,372	2	29	2	188	2	1,329	1	137
あわら市	9	27,061	0	0	0	0	0	0	2	1,019	1	20,129	1	15
越前市	26	52,841	2	3,385	1	286	1	2,160	1	24	4	1,164	1	156
坂井市	15	132,891	3	21,226	0	0	0	0	1	4	2	41,803	0	0
市 計	##	605,989	12	150,857	16	30,055	17	42,452	14	3,661	21	72,080	14	11,363
永平寺町	6	8,600	0	0	0	0	2	5,556	0	0	2	4	0	0
池田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	5	12,979	0	0	2	11,955	0	0	0	0	0	0	0	0
越前町	6	2,600	0	0	0	0	0	0	2	2,399	0	0	0	0
美浜町	4	112	0	0	2	79	1	33	1	0	0	0	0	0
高浜町	4	1,923	0	0	0	0	0	0	1	24	0	0	0	0
おおい町	4	8,057	0	0	0	0	0	0	1	21	0	0	2	8,036
若狭町 (内訳)	2	11,861	0	0	0	0	1	27	0	0	0	0	0	0
旧三方町 <small>敦賀美浜消防管轄</small>	2	11,861	0	0	0	0	1	27	0	0	0	0	0	0
旧上中町 <small>若狭消防管轄</small>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町 計	31	46,132	0	0	4	12,034	4	5,616	5	2,444	2	4	2	8,036
県 計	224	652,121	12	150,857	20	42,089	21	48,068	19	6,105	23	72,084	16	19,399

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

出火率(人口1万人に対する出火件数)は、平成22年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

期間:平成22年1月1日～12月31日

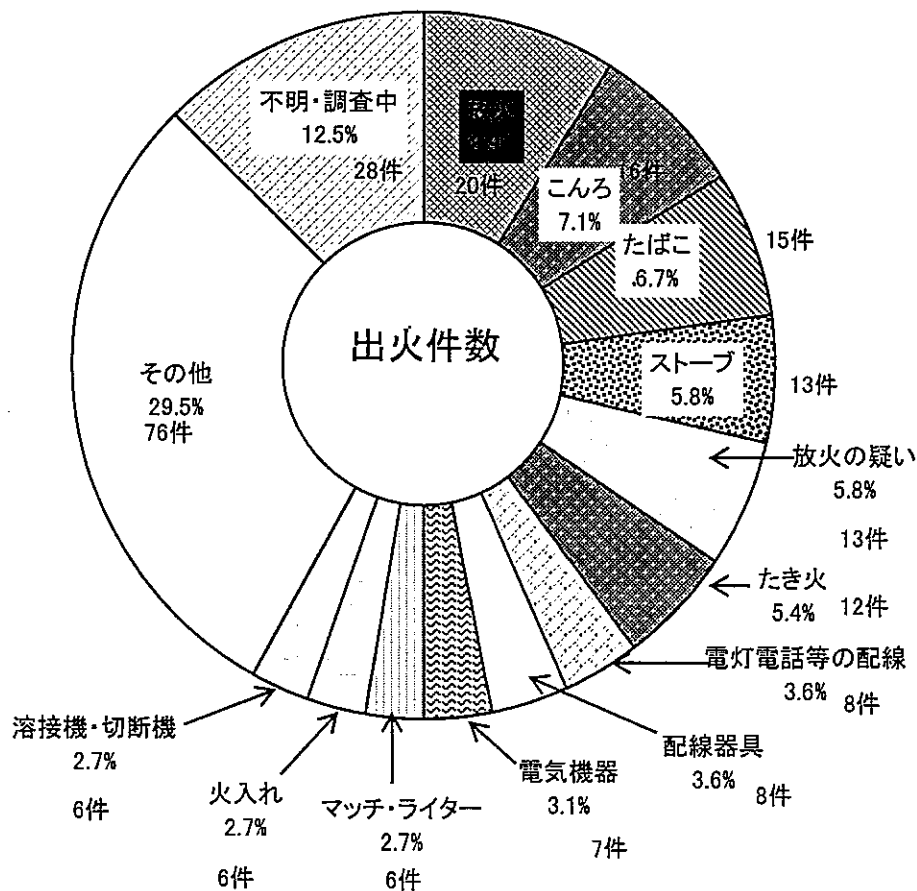
7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)
件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	
5	35,365	14	31,824	6	8,759	5	21	9	19,320	9	1,617	2.90
0	0	0	0	0	0	2	826	1	13	2	9,084	2.06
0	0	2	1,728	1	27	4	13,420	1	15,539	0	0	4.11
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	18,345	2.96
0	0	0	0	1	31	0	0	0	0	1	66	4.96
0	0	1	6,446	0	0	1	4,622	1	6,939	1	107	2.21
2	5,039	0	0	0	0	1	765	0	0	2	94	2.96
0	0	3	2,907	4	38,834	3	955	3	1,766	3	1,204	3.13
4	45,556	0	0	1	20,083	1	250	1	142	2	3,827	1.60
11	85,960	20	42,905	13	67,734	17	20,859	16	43,719	22	34,344	2.75
0	0	1	3,037	0	0	0	0	0	0	1	3	3.05
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
0	0	1	1,000	0	0	0	0	0	0	2	24	4.16
1	0	1	0	0	0	0	0	1	165	1	36	2.48
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.71
0	0	1	0	1	1,899	0	0	1	0	0	0	3.57
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4.54
0	0	0	0	0	0	1	11,834	0	0	0	0	1.21
0	0	0	0	0	0	1	11,834	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1	0	4	4,037	1	1,899	1	11,834	3	165	4	63	2.91
12	85,960	24	46,942	14	69,633	18	32,693	19	43,884	26	34,407	2.77

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間：平成22年1月1日～12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(m ²)	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
放 火	20	481	14	11	60,784
こ ん ろ	16	893	24	23	64,134
た ば こ	15	275	13	11	21,954
ス ト ー プ	13	657	17	10	21,421
放 火 の 疑 い	13	0	6	0	107
た き 火	12	210	2	0	3,347
電 灯 電 話 等 の 配 線	8	378	7	3	36,270
配 線 器 具	8	450	11	7	45,876
電 気 機 器	7	210	7	3	50,873
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	6	0	3	1	275
火 入 れ	6	112	2	0	2,541
溶 接 機 ・ 切 断 機	6	357	3	1	32,223
そ の 他	66	2,236	52	23	107,436
不 明 ・ 調 査 中	28	2,129	36	17	204,880
合 計	224	8388	197	110	652,121

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

火災種別	死因 一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	自殺	その他	不明	合計(人)
建物火災	3	2	1	0	1	7
林野火災	0	0	0	0	0	0
車両火災	0	1	0	0	0	1
その他火災	0	0	1	0	0	1
合計(人)	3	3	2	0	1	9

第8表 死者の経過別・年齢別発生状況表

経過別	年齢別(歳)												合計(人)
	0～ 5	6～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 70	65 ～ 70	71 ～ 80	81～	不明	
熟睡等により 発見遅れる													0
身体不自由等により ほとんど避難できず								1					1
延焼拡大早期により 避難できず													0
逃げれば逃げられ たが機会を失する											1		1 (0)
避難行動を起こし たが逃げ切れず						1							1
出火後再進入													0
着衣着火													0
殺人・自殺					1					1			2 (0)
その他											1		1 (0)
不明・調査中					1				1	1			3 (0)
合計(人)	0	0	0	0	2	1	0	1	1 (0)	2 (0)	2 (0)	0	9 (0)

※()内は一人暮らし高齢者数で内数

第3章 救急業務の実態

1 救急体制

災害により生じた事故もしくは屋外および公衆の出入りする場所、または屋内において生じた事故で迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、平成23年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車54台(うち高規格救急自動車47台)、救急隊員529名(うち救急救命士183名)で救急業務にあたっている。

2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、平成23年4月1日現在、第2表のとおり63施設である。

3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は25,092件、搬送人員は24,235人となっている。県内1日あたりの出場件数は約69件となり、約21分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図であり、出場件数、搬送人員ともにほぼ毎年増加している。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が14,853件で、全体の59.2%を占め、次いで一般負傷3,526件(14.1%)、交通事故2,848件(11.4%)などとなっている。搬送人員では急病が13,942人で全体の55.6%を占め、次いで交通事故3,404人(14.0%)、一般負傷3,357人(13.9%)などとなっている。

第1表 救急体制状況表

平成23年4月1日現在

救急体制 消防(局)本部名	救急自動車			救急隊員				合計	
	高規格 救急車	通常型	合計	専任	兼任		合計	救急救命士	
					救急救命士	救急救命士			
福井市	8	2	10	46	20	26	9	72	29
大野市	3	1	4			42	15	42	15
勝山市	2	1	3			27	8	27	8
永平寺町	3	0	3			38	8	38	8
嶺北消防組合	8	1	9			95	31	95	31
鯖江・丹生消防組	6	0	6			103	27	103	27
南越消防組合	7	1	8	4	4	71	18	75	22
敦賀美方消防組合	5	0	5	30	20			30	20
若狭消防組合	5	1	6	9	7	38	16	47	23
合計	47	7	54	89	51	440	132	529	183

第2表 医療機関状況表

平成23年4月1日現在

種別 告示別	国・公立	公的	私 的		合計
			病 院	診療所	
救急告示医療機関	8	4	31	20	63
その他の医療機関	28	2	24	718	772
合計	36	6	55	738	835

第3表 救急活動状況

(平成22年中)

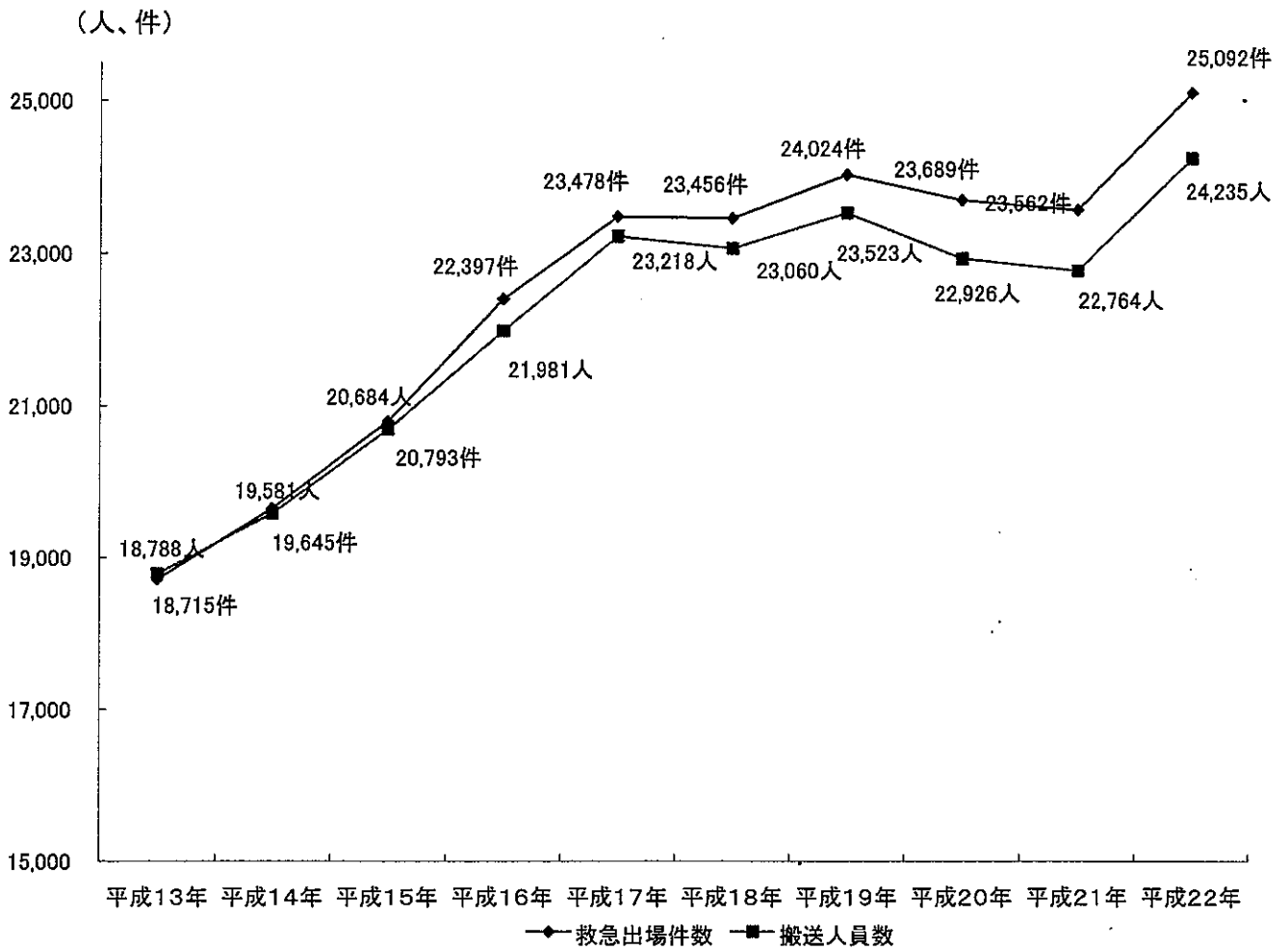
	合計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自行 損傷	急病	その他
救急出場件数	25,092	76	4	68	2,848	242	218	3,526	72	322	14,853	2,863
搬送人員	24,235	45	6	40	3,404	233	218	3,357	61	206	13,942	2,723

第4表 高速自動車道における救急活動状況表

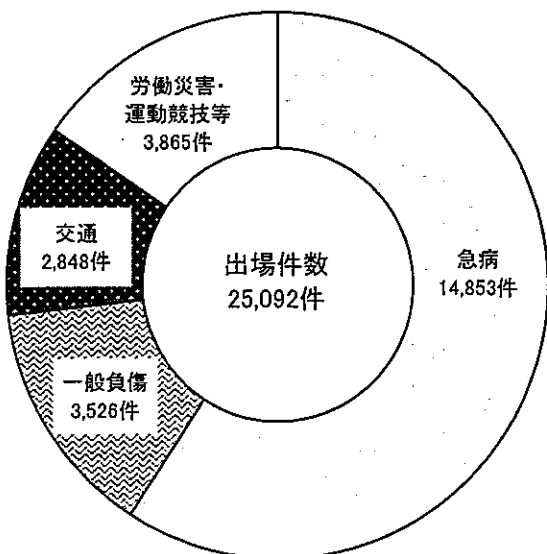
(平成22年中)

高速道路名 担当消防 本部名	北 陸 自 動 車 道						舞鶴若狭自動車道		計			
	嶺北 消防本部		福井市 消防局		鯖江・丹生 消防本部		南越 消防本部			敦賀美方 消防本部		若狭 消防本部
I C 名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀	小浜西	大飯	飯浜	
救急出動 件数	5	10	5	10	7	16	18	36	2	4		113
搬送人員	5	10	8	10	10	16	25	40	1	5		130

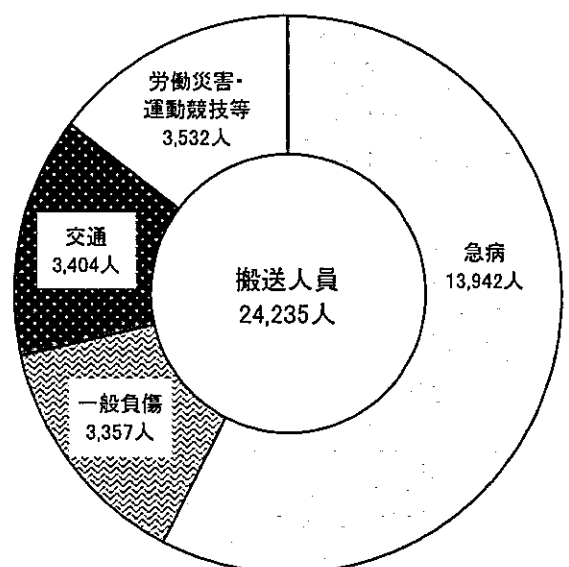
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



第4章 予 防 行 政 の 概 況

1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による平成22年4月1日から平成23年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分			点検を要する防火対象物数		点検報告済防火対象物数		特例認定済防火対象物数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	34	0	13	0	10	0
	ロ	公会堂または集会場	229	1	114	0	66	0
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場またはダンスホール	60	0	39	0	3	0
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0	1	0	1	0	0
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1	1	0	0
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	14	0	4	0	0
	ロ	飲食店	15	52	8	16	1	0
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	152	33	98	5	27	2
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	43	96	16	40	18	16
6	イ	病院、診療所または助産所	34	11	16	6	14	2
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	6	1	2	1	3	0
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	1	1	0	1	1	0
	ニ	幼稚園または特別支援学校	1	0	0	0	0	0
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	3	1	1	1	2	0
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	202	63	102	24	56	4
16の2		地下街	0	0	0	0	0	0
合 計			782	275	410	100	201	24

【備考】

- ・点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- ・特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物。「防火優良認定証」を表示することができる。
- ・第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- ・第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
 - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
 - 階段が2以上設けられていないもの
- ・調査基準日…平成23年3月31日
防火対象物の区分については、消防法施行令別表第1は改正されているが（平成19年6月13日公布・平成21年4月1日施行）、調査基準日現在の内容で記載している。
- ・調査期間……平成22年4月1日～平成23年3月31日

2 消防設備士試験・講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて839人の受験者に対して351人が合格し、合格率は41.8%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は634人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

第2表 消防設備士試験実施状況表

試験日：平成22年8月29日（日）

平成23年2月13日（日）

区 分	平成22年度								免状交付延べ数	
	受験者数（人）		合格人数（人）		合格率（%）		免状交付数		甲種	乙種
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種		
特 類	9		0		0.0%		0		5	
第1類	88	24	13	7	14.8%	29.2%	13	7	1,080	274
第2類	29	3	8	0	27.6%	0.0%	8	0	294	78
第3類	32	4	11	1	34.4%	25.0%	11	1	207	51
第4類	149	109	58	37	38.9%	33.9%	56	33	2,406	834
第5類	27	13	3	4	11.1%	30.8%	3	4	238	93
第6類		162		73		45.1%		72		1,703
第7類		190		136		71.6%		134		2,476
計	334	505	93	258	27.8%	51.1%	91	251	4,230	5,509

第3表 消防設備士義務講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数（人）	実 施 年 月 日
消 火 設 備	第1類, 第2類, 第3類 消防設備士	125	平成22年10月6日
避難設備・消火器	第5類, 第6類（乙） ”	153	平成22年10月7日
警 報 設 備	第4類, 第7類（乙） ”	356	平成22年10月14日、15日
合 計		634	

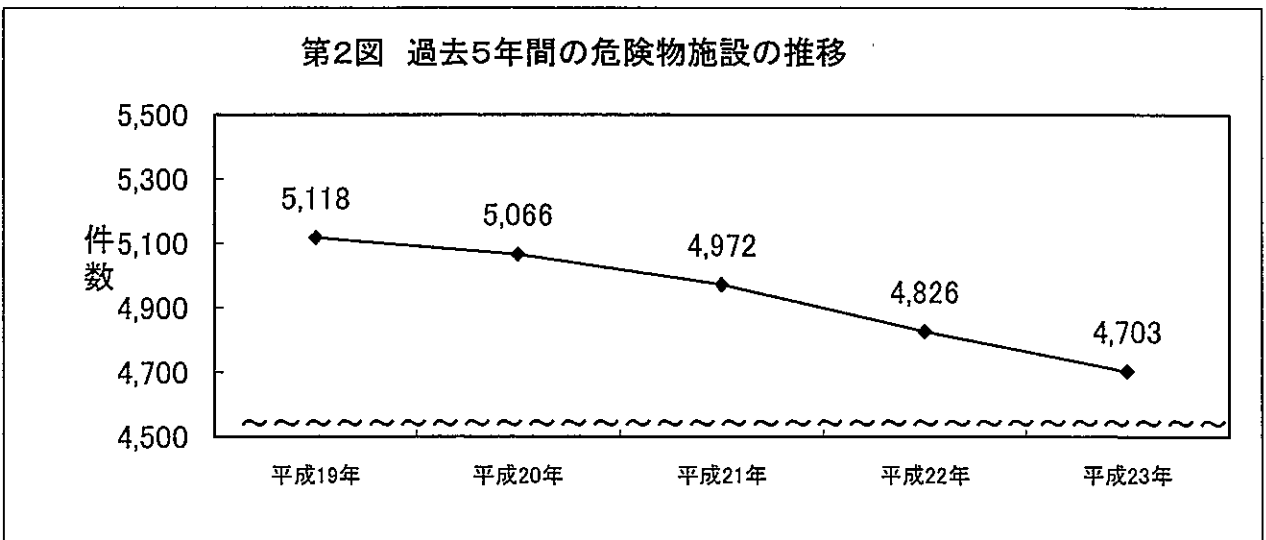
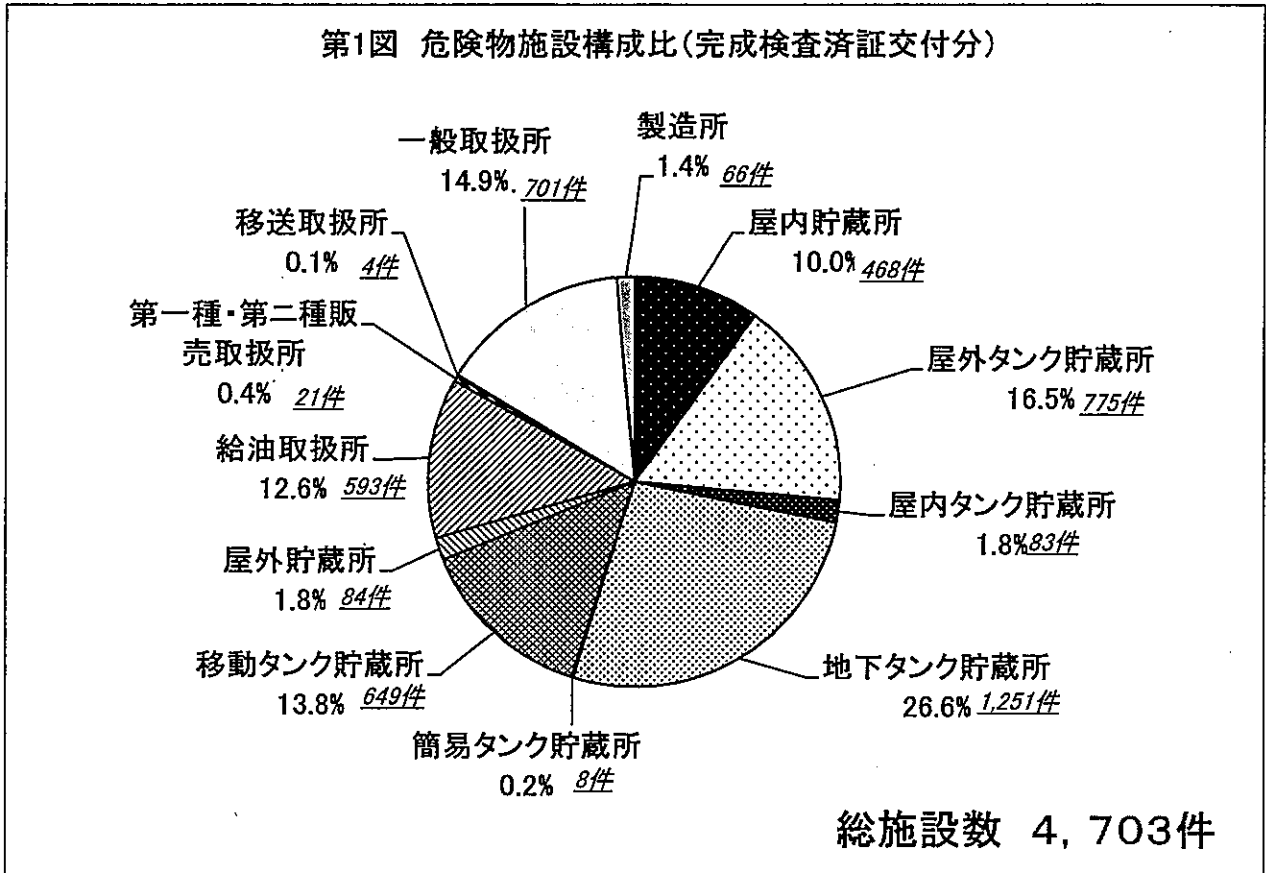
第5章 危険物規制

1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合において行なわれている。

なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(平成23年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し123件減少している。



第1表 施設別危険物施設数

平成23年3月31日現在

危険物施設の別 消防(局)本部名	製造所 (A)	貯蔵所									取扱所					合計 (A+B+C)	事業所		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所		屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所			一般取扱所	小計 (C)
				特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所														
福井市	16	114	193	5	20	31	336	1	191	20	886	155	11	1	1	154	322	1,224	649
大野市		10	23				72		37	1	143	29				33	62	205	126
勝山市	2	5	31			1	63		20	3	123	21				22	43	168	102
永平寺町		8	6			2	26		16		58	10				16	26	84	50
嶺北消防組合	25	92	173	4	36	14	232	1	152	19	683	99			2	188	289	997	363
・江・丹生消防組合	5	63	79	1		7	139		46	9	343	52	4	4		62	122	470	315
南越消防組合	14	71	113			14	155	2	67	16	438	74				74	148	600	292
教賀美方消防組合	3	65	113	8	8	11	137		72	12	410	96			1	87	184	597	236
若狭消防組合	1	40	44			3	91	4	48	4	234	57	1			65	123	358	169
合計	66	468	775	18	64	83	1,251	8	649	84	3,318	593	16	5	4	701	1,319	4,703	2,302

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）。
 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百リットル以上千リットル未満のものを記載（以下の表においても同様）。
 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千リットル以上のものを記載（以下の表においても同様）。
 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載。

第2表 指定数量別・類別危険物施設数

平成23年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製造所 (A)	貯蔵所									取扱所						合計 (A+B+C)		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計(B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所		小計(C)	
5倍以下	6	216	150			58	738	7	449	25	1,643	36	14			323	373	2,022	
5倍を超えて10倍以下	5	107	125			21	273	1	23	28	578	58	2			172	232	815	
10 " 50 "	31	89	260			4	188		34	27	602	150		5		129	284	917	
50 " 100 "	10	18	81				30		137	3	269	91				33	124	403	
100 " 150 "	3	21	33				11		5		70	72				16	88	161	
150 " 200 "		6	8	1	3		6			1	21	79				11	90	111	
200 " 1,000 "	11	9	52	13	3		5		1		67	107			1	11	119	197	
1,000 " 5,000 "		2	23	4	17						25					2	2	27	
5,000 " 10,000 "			4		2						4					2	2	6	
10,000倍を超えるもの			39		39						39				3	2	5	44	
合計	66	468	775	18	64	83	1,251	8	649	84	3,318	593	16	5	4	701	1,319	4,703	
単独	第1類		11								11					1	1	12	
	第2類	1	6								6					2	2	9	
	第3類		2								2					3	3	5	
	第4類	49	406	771	18	64	83	1,251	8	649	83	3,251	593	16	5	4	675	1,293	4,593
	第5類		20	2								22						0	22
	第6類			2								2						0	2
混在	16	23								1	24					20	20	60	
合計	66	468	775	18	64	83	1,251	8	649	84	3,318	593	16	5	4	701	1,319	4,703	

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。
 2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数に記載。

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

平成22年 4月 1日から
平成23年 3月31日まで

危険物施設の別 消防(局)本部名	製造所 (A)	貯蔵所									取扱所					合計 (A+B+C)	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計 (C)		
福井市	検査施設数	7	36	87	15	240	1	189	5	573	127			1	99	227	807
	延回数	11	39	101	29	309	1	215	5	699	164			1	116	281	991
大野市	検査施設数	1	3	5		11		31		50	15				9	24	75
	延回数	1	3	8		11		31		53	17				12	29	83
勝山市	検査施設数	2	2	2	1	23		20	1	49	3				3	6	57
	延回数	2	2	2	1	23		20	1	49	3				3	6	57
永平寺町	検査施設数		8	6	2	26		15		57	9				16	25	82
	延回数		8	6	2	26		15		57	9				16	25	82
嶺北消防組合	検査施設数	25	77	148	9	186	1	154	15	590	87			2	147	236	851
	延回数	25	77	148	9	186	1	154	15	590	87			2	147	236	851
江・丹生消防組合	検査施設数	2	7	38	2	29		49	4	129	7				15	22	153
	延回数	2	7	38	2	29		49	4	129	7				15	22	153
南越消防組合	検査施設数	8	11	30	2	46		61	4	154	21				36	57	219
	延回数	17	11	35	3	55		73	4	181	31				68	99	297
敦賀美方消防組合	検査施設数	1	10	53	4	47		56	1	171	32			1	31	64	236
	延回数	1	10	53	4	47		56	1	171	32			1	31	64	236
若狭消防組合	検査施設数		13	18	3	52	1	32	1	120	41				29	70	190
	延回数		13	20	3	53	1	40	1	131	49				31	80	211
合計	検査施設数	46	167	387	38	660	3	607	31	1,893	342			4	385	731	2,670
	延回数	59	170	411	53	739	3	653	31	2,060	399			4	439	842	2,961

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載。

2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載。

第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

平成23年3月31日現在

消防(局)本部名 容量別	福	大	勝	永	嶺	・江	南	敦	若	合
	井	野	山	平	北	江	越	賀	狭	計
	市	市	市	町	消	・丹	消	美	消	
					防	生	防	方	防	
					組	消	組	消	組	
					合	防	合	防	合	
						組		組		
						合				
100kl未満	150	23	30	6	115	56	103	72	38	593
100kl～500kl未満	18		1		18	22	10	25	6	100
500kl～1,000kl未満	5				4	1		8		18
1,000kl～5,000kl未満					21			8		29
5,000kl～10,000kl未満					2					2
10,000kl～50,000kl未満										0
50,000kl～100,000kl未満					3					3
100,000kl以上	20				10					30
合 計	193	23	31	6	173	79	113	113	44	775

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

平成23年3月31日現在

品名別 容量別	第4類										第4類以外の類(B)	合計(A+B)
	原	ナ	ガ	灯	軽	重	第4	ア	そ	小		
	油	フ	ソ	油	油	油	石油	ル	の	計		
		サ	リ				類	コ	他	(A)		
			ン					ール				
								類				
100kl未満				79	27	216	21	54	192	589	4	593
100kl～500kl未満				3	16	46	9		26	100		100
500kl～1,000kl未満	3		1		1	10			3	18		18
1,000kl～5,000kl未満			6	3	4	9			7	29		29
5,000kl～10,000kl未満				2						2		2
10,000kl～50,000kl未満										0		0
50,000kl～100,000kl未満						3				3		3
100,000kl以上	30									30		30
合 計	33	0	7	87	48	284	30	54	228	771	4	775

第5表 危険物取扱者試験実施状況

区 分 種 別		平成19年度 合 格 率 (%)	平成20年度 合 格 率 (%)	平成21年度 合 格 率 (%)	平成22年度		
					受験者数 (人)	合格者数 (人)	合 格 率 (%)
甲	種	27.9	28.0	28.9	262	80	30.5
乙	第 1 類	58.1	63.5	66.4	435	281	64.6
	第 2 類	68.1	63.2	65.8	358	260	72.6
	第 3 類	63.5	60.3	55.8	400	284	71.0
	第 4 類	38.5	36.4	35.4	3,217	1,120	34.8
	第 5 類	65.8	64.8	63.0	351	237	67.5
	第 6 類	62.5	69.4	74.3	440	294	66.8
	小 計	47.7	46.4	46.7	5,201	2,476	47.6
丙	種	61.2	53.2	56.2	653	410	62.8
合	計	48.8	46.7	47.1	6,116	2,966	48.5

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

区 分 講習種別		平成19年度 受講者数 (人)	平成20年度 受講者数 (人)	平成21年度 受講者数 (人)	平成22年度	
					受講者数 (人)	講習実施回 数 (回)
給 油 取 扱 所		425	436	481	406	7
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		28	33	28	31	1
そ の 他		1,212	1,100	1,213	1,201	9
合	計	1,665	1,569	1,722	1,638	17

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

2. 危険物施設の火災・漏えい事故等

- (1) 過去5年間に於ける危険物の災害事故発生件数は、平成18年が9件と最も多い。
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、一般取扱所での事故が12件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別 内訳	製造所 (A)	貯蔵所							取扱所					その他 (D)	合計 (A+B+C+D)	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所			一般取扱所
平成18年	火災								0					4	4		4
	漏えい				1		2		3	1				1	2		5
	その他								0						0		0
平成19年	火災								0					1	1		1
	漏えい			1	1				2						0		2
	その他								0	2					2		2
平成20年	火災								0						0		0
	漏えい							1	1	2					2		3
	その他								0	2					2		2
平成21年	火災	1							0						0		1
	漏えい				1		1		2					1	1		3
	その他								0					1	1		1
平成22年	火災	1							0					2	2		3
	漏えい								0	1				2	3		3
	その他								0						0		0
火災計		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	6
漏えい計		0	0	1	0	3	0	4	8	4	0	0	0	4	8	0	16
その他計		0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	5	0	7
総計		2	0	1	0	3	0	4	8	8	0	0	0	12	20	0	29

注：1 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載。

第6章 消防の概要

1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は平成23年4月1日現在で1,192名である。

また、消防団員数は平成23年4月1日現在で5,656名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

2 消防施設

(1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

(2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

3 民間防火組織

(1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

(2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」（会長：消防庁長官）が設けられ、今日に至っている。

(3) 婦人防火クラブ

婦人防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い婦人を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導をもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、婦人による防火活動は重要な役割を果たしている。

4 表 彰

消防職員または消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656

第2表 消防機関の現況

区 分		平成22年4月(A)	平成23年4月(B)	増減(B-A)
消防本部・署	消防本部数	9	9	0
	消防署数	20	20	0
	出張所数	31	31	0
	消防職員数	1,180	1,192	12
消防団	消防団数	18	18	0
	分団数	234	235	1
	消防団員数	5,560	5,656	96

第3表 消防の概況

平成23年4月1日現在

区分 消防(局)本部名	消防本部・署所				消防団				消防水利			基地局および固定局 移動局						
	設置別 消防本部のみ設置 ○	消防本部を併設 ○	消防署数	出張所数	消防実吏員数	自普通消防ポンプ自動車数	水槽付消防ポンプ自動車数	消防団数	分団数	消防団常備部数	団員数(実員) 計		普通自動車数	小型動力ポンプ付積載車 付小型積載車	消火栓(公設)	防火水槽		
																	常勤	非常勤
福井市	○		4	16	351	22	3	1	53		977	13	11	9,526	995	82	9	135
大野市		○	1	1	54	4		1	9		392	10	22	381	260	27	4	36
勝山市		○	1		37	2	1	1	12		293	3	10	245	190	8	2	42
永平寺町		○	1	2	36	2	2	1	11		293	10	14	171	243	11	3	27
嶺北消防組合		○	5	1	192	9	4	2	36		737	36	11	1,386	1,171	130	6	106
鯖江・丹生消防組合		○	1	4	110	5	1	2	37		581	30	9	1,621	869	50	3	53
南越消防組合		○	3	2	145	6	4	3	30		745	19	22	2,550	678	41	14	129
敦賀美方消防組合		○	3	1	139	4	4	3	18		746	23	27	1,221	215	174	3	84
若狭消防組合		○	1	4	128	7	3	4	29		892	9	37	1,037	487	68	5	78
計	1	8	20	31	1,192	61	22	18	235	0	5,656	153	163	18,138	5,108	591	49	690

第4表 階級別消防職員数

平成23年4月1日現在

区分	消防職員														条 例 定 数
	消防吏員(実員)										その他の職員				
	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計(B)	事務職員	技術職員	單純勞務職員	小計(C)	
消防(局)本部分	うち女性	(A)	(B)	(C)											
福井市	6	1	3	20	79	97	89	21	41	351	15			15	356
大野市	1		1	6	6	12	13	4	12	54	1			1	55
勝山市	1		1	5	5	7	7	5	7	37				0	37
永平寺町	0		1	5	9	9	7	3	2	36	1			1	45
嶺北消防組合	4	1	1	14	37	32	48	18	41	192	4			4	206
鯖江・丹生消防組合	4		1	7	17	29	24	14	18	110	2			2	113
南越消防組合	3		1	14	30	43	33	8	16	145	3			3	147
敦賀美方消防組合	3		4	15	25	20	29	15	31	139	5			5	141
若狭消防組合	2		2	8	25	36	25	5	27	128	1			1	130
計	24	2	15	94	233	285	275	93	195	1,192	32	0	0	32	1,230

注: 下段の()は、女性職員の内数

第5表 階級別非常勤消防団員数

平成23年4月1日現在

階級別 消防(局)本部	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条例定数
福井市	977 (14)	5 ()	4 ()	52 ()	52 ()	96 ()	97 (1)	671 (13)	1,011
大野市	392 (14)	1 ()	2 ()	9 ()	10 ()	35 (1)	54 (2)	281 (11)	400
勝山市	293 (24)	1 ()	2 ()	12 ()	12 ()	25 (1)	34 (2)	207 (21)	299
永平寺町	293 (37)	1 ()	2 ()	16 (1)	10 ()	()	34 ()	230 (36)	315
嶺北消防組合	737 (26)	2 ()	8 ()	36 ()	52 ()	3 (2)	66 (3)	570 (21)	773
鯖江・丹生消防組合	581 (18)	2 ()	5 ()	37 ()	33 ()	()	82 ()	422 (18)	627
南越消防組合	745 (6)	3 ()	9 ()	30 ()	30 ()	()	79 ()	594 (6)	841
敦賀美方消防組合	746 (26)	3 ()	4 ()	18 ()	18 ()	51 ()	85 ()	567 (26)	746
若狭消防組合	892 (7)	4 ()	6 ()	29 ()	21 ()	58 ()	98 ()	676 (7)	894
計	5,656 (172)	22 (0)	42 (0)	239 (1)	238 (0)	268 (4)	629 (8)	4,218 (159)	5,906

注: 下段の()は、女性団員の内数

第6表 年齢別消防吏員・消防団員数

平成23年4月1日現在

年齢別 消防(局)本部名	消 防 吏 員										消 防 団 員													
	(A)のうち										平均年齢 (B) (A)	年齢合計 (B)	(C)のうち										平均年齢 (D) (C)	年齢合計 (D)
	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 〜 59歳	60歳 〜 64歳			65歳 以上	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 〜 59歳		
吏員数 (A)	28	24	30	65	37	47	59	59	14,864	42.3	977	1	11	33	94	144	161	155	164	116	90	8	44,825	45.9
福井市	351	2	24	30	65	37	47	59	14,864	42.3	977	1	11	33	94	144	161	155	164	116	90	8	44,825	45.9
大野市	54	1	6	5	11	3	9	7	2,129	39.4	392	1	10	13	45	52	55	68	67	64	15	2	17,694	45.1
勝山市	37	3	3	5	10	4	6	2	1,454	39.3	293		6	18	30	54	33	49	59	33	11		12,870	43.9
永平寺町	36		3	6	8	4	3	5	1,533	42.6	293	26	16	9	46	46	59	40	24	18	9		11,425	39.0
嶺北消防組合	192	1	24	25	42	20	11	13	7,484	39.0	737		11	31	96	135	160	132	88	55	24	5	31,609	42.9
鯖江・丹生消防組合	110	2	12	20	25	8	9	12	4,158	37.8	581	1	15	53	109	182	108	60	33	12	6	2	22,274	38.3
南越消防組合	145	3	9	12	34	13	17	16	6,018	41.5	745		8	19	79	135	143	133	108	81	34	5	33,143	44.5
敦賀美方消防組合	139	5	13	21	24	7	3	10	5,223	37.6	746	1	21	96	195	159	73	63	60	34	35	9	29,065	39.0
若狭消防組合	128	1	21	15	16	8	8	16	5,138	40.1	892	1	26	95	242	252	161	80	30	5			32,547	36.5
計	1,192	15	116	141	235	104	113	140	48,001	40.3	5,656	31	124	367	936	1,159	953	780	633	418	224	31	235,452	41.6

注:18歳〜19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

平成23年4月1日現在

年数別 消防(局)本部名	消 防 団 員										消 防 常 勤 団 員											
	消					防					団					員						
	合 計	5年未滿	5年未滿以上	10年未滿以上	15年未滿以上	20年未滿以上	20年未滿以上	25年未滿以上	25年未滿以上	30年未滿以上	30年未滿以上	合 計	5年未滿	5年未滿以上	10年未滿以上	15年未滿以上	20年未滿以上	20年未滿以上	25年未滿以上	25年未滿以上	30年未滿以上	30年未滿以上
福井市	351	45	22	34	47	35	52	116	977	293	167	143	120	112	62	80						
大野市	54	9	4	6	10	5	9	11	392	104	65	61	55	37	46	24						
勝山市	37	5	4	5	8	5	4	6	293	67	57	58	46	40	14	11						
永平寺町	36	2	1	5	10	2	5	11	293	136	59	29	51	11	5	2						
嶺北消防組合	192	42	16	11	44	19	15	45	737	203	143	151	102	80	36	22						
續江・丹生消防組合	110	20	14	14	22	10	4	26	581	192	144	123	78	32	7	5						
南越消防組合	145	18	8	21	27	15	3	53	745	165	150	130	124	106	41	29						
敦賀美方消防組合	139	31	19	13	29	8	4	35	746	276	234	85	61	47	33	10						
若狹消防組合	128	27	10	15	12	9	9	46	892	338	255	155	78	40	23	3						
計	1,192	199	98	124	209	108	105	349	5,656	1,774	1,274	935	715	505	267	186						

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部・署)

平成23年4月1日現在

区分	消防本部・署 現有										その他車両															
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車(ポンプ付でないものを含む)	18m級	24m級	30m級	38m級	風折ポンプ自動車	大型高所放水車	泡原液搬送車		化学消防ポンプ自動車	指揮車	救助工作車	照明車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ	広報車	資機材搬送車	救急自動車	屈折放水塔車	水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	
消防(局)本部名																										
福井市消防局	22	3	1	1	1	2	1	2	1	3	5	2			7	5	4	10	1	1						5
大野市消防本部	4		1						1	1	1	1			9	2	3	4								
勝山市消防本部	2	1	1									1			1	1	1	3								1
永平寺町消防本部	2	2									2	1			2	1	1	3								2
嶺北消防組合	9	4			2				1	5	5	4	1		7	4	5	9				1				8
鯖江・丹生消防組合	5	1		1						2	2	1				9	2	6			1		1			1
南越消防組合	6	4	1		1					2	4	3				6	4	8			1					
敦賀美方消防組合	4	4	1							2	1	2			3	1	4	5			1					
若狭消防組合	7	3			1					1	1	1			6	2	2	6								4
計	61	22	3	2	4	3	2	2	1	16	21	16	1	0	35	31	26	54	1	3	4	1	1	2	20	

注:救急自動車の()書きは高規格救急自動車で内数。

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

平成23年4月1日現在

種別 消防(局)本部名	消防団現有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ車両に積載していないもの
福井市	13		11	42
大野市	10		22	2
勝山市	3		10	27
永平寺町	10		14	
嶺北消防組合	36		11	
鯖江・丹生消防組合	30		9	3
南越消防組合	19		22	1
敦賀美方消防組合	23		27	15
若狭消防組合	9		37	57
計	153	0	163	147

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

平成23年4月1日現在

種別	計		化学消火剤種別												
	(A)	(B)	たん白系		合成界面	水成膜泡	水性液体用泡	粉末(kg)							
	(kg) (ア)~(オ)	(kg) (カ)~(ケ)	3%型 (キ) (ク)	6%型 (ケ) (コ)	活性剤 (ク) (ク)	消火薬剤 (kl) (エ)	消火薬剤 (耐アルコール用) (kl) (オ)	第1種 粉末 (カ)	第2種 粉末 (キ)	第3種 粉末 (ク)	第4種 粉末 (ケ)				
消防(局)本部名															
福井市	22.93	0.00	16.85	0.39	3.30	2.05	0.34								
大野市	1.40	0.00			1.40										
勝山市	0.75	0.00			0.75										
永平寺町	0.50	0.00			0.50										
嶺北消防組合	24.24	0.00	1.18		11.78	2.72	8.56								
鯖江・丹生消防組合	0.70	0.00			0.70										
南越消防組合	3.49	0.00			1.10	2.39									
敦賀美方消防組合	3.97	0.00	0.86		1.71	1.18	0.22								
若狭消防組合	1.22	0.00			1.22										
計	59.20	0.00	18.89	0.39	22.46	8.34	9.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

第11表 消防水利の状況

平成23年4月1日現在

種別	計	消火栓		小計(C)(D)+(E)				公設(D)				私設(E)				その他												
				小計	公設	私設	防火水槽				防火水槽				小計	河川	海	浦	燦	下	その他							
							100 m ³ 以上	60 m ³ 未 満	40 m ³ 未 満	20 m ³ 未 満	100 m ³ 以上	60 m ³ 未 満	40 m ³ 未 満	20 m ³ 未 満								100 m ³ 以上	60 m ³ 未 満	40 m ³ 未 満	20 m ³ 未 満	井戸	井戸	井戸
消防(局)本部名	(A) + (B) (C)	(A) + (B) (C)	公設	私設	100 m ³ 以上	60 m ³ 未 満	40 m ³ 未 満	20 m ³ 未 満	100 m ³ 以上	60 m ³ 未 満	40 m ³ 未 満	20 m ³ 未 満	100 m ³ 以上	60 m ³ 未 満	40 m ³ 未 満	20 m ³ 未 満	井戸	井戸	井戸	井戸	小計	河川	海	浦	燦	下	その他	
福井市	10,603	9,526	9,330	196	51	34	910	82	0	31	8	772	31	20	26	138	51	0	0	0	345	132						126
大野市	696	381	381		2	4	254	27	28	1	193	17	10	3	61	10	15				15							
勝山市	443	245	245		3	1	186	8	0	3	1	186	8				0			0	0							
永平寺町	425	171	171		1	20	222	11	0	1	20	222	11				12			12	12							
嶺北消防組合	2,687	1,386	1,386		12	48	1,111	130	0	9	45	922	86	3	3	189	44			66	12	6	48					
鯖江・丹生消防組合	2,540	1,621	1,621		22	11	836	50	0	15	10	821	50	7	1	15				27			26				1	
南越消防組合	3,269	2,550	2,452	98	6	17	655	41	0	6	17	641	40			14	1			108	61	1	27	18			1	
敦賀美方消防組合	1,667	1,221	1,221		5	9	201	174	57	5	7	186	170		2	15	4		0	0								
若狭消防組合	1,592	1,037	1,037		1	7	479	68	0	1	3	466	66		4	13	2		44	44					33			11
計	23,922	18,138	17,814	294	103	151	4,854	591	85	71	112	4,409	479	32	39	445	112	0	0	617	205	7	245	21	0	139		

第12表 消防機関の出動状況

平成22年中

区分	種別	累計 (ア)~(サ)	火災 (ア)	風水害 等の 災害 (イ)	演習 訓練 (ウ)	広報 指導 (エ)	警防 調査 (オ)	火災 原因 調査 (カ)	特別 警戒 (キ)	捜索 (ク)	予 防 査 察 (ケ)	誤 報 等 (コ)	その他 (サ)
消防本部・署所	出動回数	22,811	221	44	2,455	3,703	4,583	297	906	12	8,110	117	2,363
	出動延人数	86,353	3,520	188	9,905	30,980	11,165	1,365	2,514	65	19,842	633	6,176
消防団	出動回数	2,757	159	8	1,060	253	3	0	411	4	0	9	850
	出動延人数	43,663	3,365	71	22,781	5,144	11	0	6,111	61	0	57	6,062

第13表 消防吏員・団員の公務による死傷者数

平成22年中

区分	種別	累計 (ア)~(キ)	火災 (ア)	救急 業務 (イ)	風水害 等の 災害 (ウ)	演習 訓練 (エ)	特別 警戒 (オ)	捜索 (カ)	その他 (キ)
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	1	0	0	0	0	0	0	1
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	3	1	0	0	2	0	0	0

第14表 火災通報施設等の現況

平成23年4月1日現在

区分 消防(局)本部分名	火災報知機			テレビ 監視装置 (基)	望楼		電話					救急指令装置	
	受信機 (基)	発信機			小計 (ア)+(イ) (基)	24時間 監視体 制をとっ ているも の (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	消防機関にあるもの			加入電話 (キ) (回線)	救急 指令 専用	消防 指令 装置と併用
		公衆用 (ア) (基)	自衛用 (イ) (基)					火災報知 専用電話 (オ) (回線)	消防電話 回線 (カ) (回線)	1ヶ月あた りの経費 (千円) (ク) (回線)			
福井市	0			0			18	99		40		1	
大野市	0		1	0			13	2	4	23			
勝山市	0			0			8			7			
永平寺町	0			0			12	1	15	9			
嶺北消防組合	0			0			14			17			
鯖江・丹生消防組合	0			0			19			27		1	
南越消防組合	0			0			16	2	6	29			
敦賀美方消防組合	0			0			11	4	189	39			
若狭消防組合	0		1	0			12	2		9			
計	0	0	2	0	0	0	123	110	214	200	0	2	

第15表 無線通信施設の現況

平成23年4月1日現在

種別 消防(局)本部名	消防・救急業務用無線												
	固定局			基地局および携帯基地局						航空局	移動局		
	局数		局 その 他の 電波 の 数	局数		電波の数				局 数	陸 上 移 動 局 数	携 帯 局 数	そ の 他
	多 重	そ の 他		基 地 局	携 帯 基 地 局	全 国 共 通 波	県 内 共 通 波	その他					
						単 信 波	複 信 波						
福井市	2			7		3	1	3	1		135		
大野市		1	1	3		1	1	1			36		
勝山市		1	1	1			1	2			42		
永平寺町				3		1	1				27		
嶺北消防組合				6		3	1	3			59	47	
鯖江・丹生消防組合				3		3	1	1			31	22	
南越消防組合		7	1	7		3	1	2			84	45	
敦賀美方消防組合				3		3	1	1			44	40	
若狭消防組合				5		1	1	2			33	45	
計	2	9	3	38	0	18	9	15	1	0	491	199	0

第16表 幼年消防クラブの現況

平成23年5月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数					
	計	幼稚園 保育園 単 位	学 校 単 位	市町村 単 位	区 単 位	その他	計	幼稚園 保育園 単 位	学 校 単 位	市町村 単 位	区 単 位	その他	計	幼稚園 保育園 単 位	学 校 単 位	その他
消防(局)本部名																
福井市	2	2					53	53					2	2		
大野市	20	20					858	858					20	20		
勝山市	13	13					541	541					163	163		
永平寺町	10	10					720	720					64	64		
嶺北消防組合	59	59					4,492	4,492					61	61		
鯖江・丹生消防組合	42	42					1,714	1,714					106	106		
南越消防組合	47	47					977	977					47	47		
敦賀美方消防組合	36	36					2,915	2,915					36	36		
若狭消防組合	4	4					81	81					8	8		
計	233	233	0	0	0	0	12,351	12,351	0	0	0	0	507	507	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

平成23年5月1日現在

種別	組織別クラブ数				組織別クラブ員数				指導者数				
	計	学校単位		市町村単位	地区単位	その他	計	学校単位		計	小学校	中学校	その他
		小学校	中学校					小学校	中学校				
消防(局)本部名													
福井市	50	50					2,466	2,466		67	67		
大野市	16	11	5			426	348	78		15	11	4	
勝山市	17	3		4	10	825	90		83	24	6		18
永平寺町	15				15	350				30			30
嶺北消防組合	29	29				967	967			29	29		
鯖江・丹生消防組合	20	20				2,882	2,882			99	99		
南越消防組合	21	21				802	802			21	21		
敦賀美方消防組合	14	14				356	356			14	14		
若狭消防組合	12	12				613	613			24	24		
計	194	160	5	4	25	9,687	8,524	78	0	83	271	4	48

第18表 婦人防火クラブの現況および活動状況

平成23年4月1日現在

種別	合計		周囲の状況						活動状況別組織数				
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	市街地		農山村地域		漁村地域		その他 組織数 (エ)	人員 (ケ)	消火活動を行う (a)	消火活動は行わないが、炊き出し、連絡、救護等を行う (b)	(a)(b)は行わず、予防の啓蒙活動を行っている (c)
			組織数 (ア)	人員 (カ)	組織数 (イ)	人員 (キ)	組織数 (ウ)	人員 (ク)					
消防(局)本部名													
福井市	20	1,916	6	706	11	706	3	504			10		10
大野市	13	285			13	285					9	1	3
勝山市	12	330	3	150	9	180				12			
永平寺町	3	1,000	1	500					2	500			3
嶺北消防組合	2	662	2	662									2
鯖江・丹生消防組合	23	2,649	8	1,114	12	627	3	908			12		11
南越消防組合	24	265	13	133	11	132					24		
敦賀美方消防組合	78	3,512	16	2,241	51	1,117	11	154			70	8	
若狭消防組合	20	283			12	217	8	66			20		
計	195	10,902	49	5,506	119	3,264	25	1,632	2	500	157	9	29

第19表 消防表彰受賞状況

種 類		年 度											
		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
叙 勲		10	10	10	15	22	19	19	21	23	24	23	
藍 綬 褒 章									4		1		
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	2	2	2	1	2	2	1	2	2	1	2	
	永年勤続功労章	18	19	19	16	19	21	21	20	20	20	21	
	表 彰 旗	1	1										
	竿 頭 綬	1											
	消防 団 地域 活動	消 防 団		1	1			1	1			1	1
		事 業 所				1				1		1	1
	少年 消防 クラブ	表 彰 旗	1			1			1				1
		表 彰 楯	1		1	1		2		1	2	1	
		指 導 者											
	福 井 県	功 勞 章	39	38	38	39	37	38	40	40	40	40	40
永年勤続精績章		114	144	114	112	119	137	129	117	154	141	142	
銀 杯		30 年 以 上											
		退職10~15年未満	77	74	85	64	63	66	59	58	66	75	66
知 事 表 彰	感 謝 状	退 職 幹 部	9	25	22	19	10	30	14	23	23	24	24
		人 命 救 助 そ の 他											
		夫 人 表 彰	23	27	31	30	19	20	27	29	26	22	36
彰	竿 頭 綬					7							
	特 別 功 勞 章												

第7章 消防教育訓練

1 消防学校の概要

(1) 沿革

昭和34年7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置。
 昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転。
 平成8年4月1日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

(2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所在地 福井市大畑町97-21-3
 (イ) 敷地面積 40,759.02㎡

イ 建物工作物等

建物構造および規模

・ 敷地面積 40,759.02㎡ ・ 建物延面積 8,082.61㎡

名称	規模・構造	延べ面積(㎡)	内 容
教育管理棟 宿泊施設(3階)	R C 造 3 階	3,249㎡	1階 校長室 講師控室 職員室 会議室 防災倉庫 2階 普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等 3階 寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体育館	鉄骨造 2 階 建	2,061.25㎡	1階 食堂 学生ホール 和室 アリーナ 2階
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,100㎡	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫
訓練塔(主)	S R C 造 地下1階建 地上8階建	667.05㎡	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室
訓練塔(補助)	鉄骨造 地上7m	A塔 70.44㎡ B塔 32.86㎡	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	F R P 製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m³ 採水口4箇所(ポンプ車用)	アクアラング12基 ポンベ28本 機械室・便所(34.43㎡)
その他施設			油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20㎡ 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m
屋外訓練場		7,800㎡ (120m×65m)	1周200mグラウンド

2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実に向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。

また、第3表のとおり消防大学校へ職員が派遣された。

第1表 平成22年度消防本部(局)別受講者数

区分	教育訓練の種類	項目	実施年月日	教育 案日数	延時間	消防本部(局)名										合計	
						福井	敦賀美方	南越	若狭	大野	勝山	鯖江丹生	嶺北	永平寺	その他		
消防職員	初任教育(第45期)	初級幹部科	22.4.2~22.9.28 (隔年実施)	120	835	10	5	4	5	2		7	10			43	
			22.12.7~22.12.15	-	-												0
			22.4.21~22.4.23	7	49	4	2	2	1	1	1	1	2	3	1		17
	専科教育	中級幹部科(第5期)	22.4.21~22.4.23	3	21	4	2	1	2	1	1	2	3	1		17	
			22.11.11~11.25	10	70	4	1	3	2	1	1	1	2			15	
			(隔年実施)	-	-											0	
	特別教育	予防査察科(第7期)	23.2.3~2.17	10	70	4	1	2	2	2	1	2	2	1		15	
			23.1.12~1.20	7	49	4	2	3	2	1	1	1	3	1		18	
			(隔年実施)	-	-											0	
	特別教育	火災調査科	22.10.4~11.5	23	161	4	2	3	2	2	1	2	4			19	
			23.1.25~3.16	36	252	8	5	4	4	1	1	3	5			31	
			休止	-	-											0	
	特別教育	救急救命士研修	22.7.14~7.30	12	84	3	2	1	2	2	1	1	3	1		14	
(下記公開講座に記載)															0		
22.4.15~4.16			2	14	5	4	4	4	4	4	2	4	4	2	33		
消防団員	初級幹部科	初級幹部科	22.8.3	1	5	4	2	4	4	2	2	2	2	1	17		
			22.5.23	231	1,610	54	28	31	26	12	12	27	41	8	0	239	
			22.10.31	1	7	5	3	15	5	2	7	5	5	5		47	
	中級幹部科	中級幹部科	22.6.13	1	7	2	3	10	4	2	2	8	6	4	2	41	
			22.11.28	1	7	8		14			1	1	4	2	2	32	
			22.11.23	1	7	22										22	
	消防団指導員教育(日消)	消防団指導員教育(日消)	22.11.13~11.14	2	12	1	3	2	4	1	1	1	2	2	1	17	
			22.11.10	7	47	16	31	47	8	7	17	21	18	13	0	178	
			中止	-	-	4	12	2	6	5	2	2	1	5		37	
	公開講座	少年消防クラブ員教育(第1回)	22.10.17	1	6		2	1		2			7	3		15	
			23.3.13	1	6	17		7		3	2	2	1	8	2	40	
			22.12.5	1	7	32		4		11	3	3	6	6		56	
	公開講座	自主防災組織員教育(第2回)	23.2.20	1	7	22		5			5	2	1	9	7	51	
22.10.21 22.10.28			2	14										141	141		
22.11.10			1	7	4	12	2	6	26	9	9	3	35	12	141		
公開講座	市町新規採用職員研修	22.10.21 22.10.28	7	47	75	14	19	6	40	45	38	51	94	33	141		
		22.11.13~11.14	245	1,704	145	73	97	40	45	38	51	94	33	141	757		
		22.11.10	1	4	12	2	6	5	2	2	2	5	5	1	38		
公開講座	警防科	22.10.17	1	4	13	7	4	5	2	2	4	5	5	1	43		
		23.3.13	1	4	9	4	4	4	4	1	2	2	5	1	32		
		22.12.5	1	4	9	7	12	6	2	2	2	11	5	2	56		
公開講座	中級幹部科	22.10.21 22.10.28	4	16	43	20	26	20	7	6	6	22	20	5	0		
		22.11.13~11.14	249	1,720	188	93	123	60	52	44	73	114	38	141	926		
		22.11.10	4	16	43	20	26	20	7	6	6	22	20	5	0		
公開講座	中級幹部科	22.10.17	1	4	13	7	4	5	2	2	4	5	5	1	43		
		23.3.13	1	4	9	4	4	4	4	1	2	2	5	1	32		
		22.12.5	1	4	9	7	12	6	2	2	2	11	5	2	56		
公開講座	危険物科	22.10.21 22.10.28	4	16	43	20	26	20	7	6	6	22	20	5	0		
		22.11.13~11.14	249	1,720	188	93	123	60	52	44	73	114	38	141	926		
		22.11.10	4	16	43	20	26	20	7	6	6	22	20	5	0		
公開講座	救急科	22.10.21 22.10.28	4	16	43	20	26	20	7	6	6	22	20	5	0		
		22.11.13~11.14	249	1,720	188	93	123	60	52	44	73	114	38	141	926		
		22.11.10	4	16	43	20	26	20	7	6	6	22	20	5	0		
公開講座	救急科	22.10.21 22.10.28	4	16	43	20	26	20	7	6	6	22	20	5	0		
		22.11.13~11.14	249	1,720	188	93	123	60	52	44	73	114	38	141	926		
		22.11.10	4	16	43	20	26	20	7	6	6	22	20	5	0		
公開講座	救急科	22.10.21 22.10.28	4	16	43	20	26	20	7	6	6	22	20	5	0		
		22.11.13~11.14	249	1,720	188	93	123	60	52	44	73	114	38	141	926		
		22.11.10	4	16	43	20	26	20	7	6	6	22	20	5	0		

第2表 平成22年度消防学校教育訓練実施状況

区分	項目 教育訓練の種類	教育人員	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数				
					学校	県	消防	専門	
消防職員	初任教育(第45期)	43	120	835	541	49	202	43	
	幹部教育	初級幹部科	0	0	0				
		中級幹部科	17	7	49	12	4	25	8
		上級幹部科	17	3	21	4	5	10	2
	専科教育	警防科	15	10	70	41	4	21	4
		特殊災害科	0	0	0				
		予防査察科	15	10	70	8	4	54	4
		危険物科	18	7	49	5	8	25	11
		火災調査科	0	0	0				
		救助科	19	23	161	29	8	111	13
		救急科	31	36	252	13	2	74	163
	特別教育	救急救命士研修	0	0	0				
		水難救助科	14	12	84	27		57	
		操法指導員教育	33	2	14	2		12	
起震車操作員教育		17	1	5	5				
小計	239	231	1,610	687	84	591	248		
消防団員	初級幹部科	88	2	14	14				
	中級幹部科	73	3	21	7	6		8	
	消防団指導員教育(日消)	17	2	12	10	2			
	小計	178	7	47	31	8	0	8	
一般その他	自衛消防隊幹部教育	37	1	7	5	2			
	少年消防クラブ員教育(中止)			0					
	女性防火クラブ員教育	55	2	12	12				
	自主防災組織員教育	107	2	14	10	4			
	市町新規採用職員研修	141	2	14	8		6		
	小計	340	7	47	35	6	6	0	
合計	757	245	1,704	753	98	597	256		
公開講座	警防科	38	1	4				4	
	中級幹部科	43	1	4				4	
	危険物科	32	1	4				4	
	救急科	56	1	4				4	
	公開講座合計	169	4	16	0	0	0	16	
総合計	926	249	1,720	753	98	597	272		

第3表 平成22年度消防大学校派遣者数

学 科	派遣者数	備 考
幹 部 科 (第21期) (第23期) (第24期)	5	鯖江・丹生、敦賀美方、若狭、消防学校
上 級 幹 部 科 (第74期)	1	勝山
警 防 科 (第87期) (第88期)	2	福井市、勝山
救 助 科 (第63期)	1	嶺北
予 防 科 (第89期)	1	福井市
危 険 物 科 (第5期)	2	嶺北、消防学校
新 任 教 官 科 (第5期)	2	消防学校
航 空 隊 長 コ ー ス (第8回)	2	防災航空事務所
危 機 管 理 実 務 コ ー ス (第2回)	1	嶺北
国 民 保 護 コ ー ス (第8回)	1	嶺北
自 主 防 災 組 織 育 成 コ ー ス (第6回)	4	嶺北、鯖江・丹生、消防学校
合 計	22	